

## ナジブ首相の 7 億ドル受領疑惑とマレーシアの政治危機(その 3)

地域研究センター 中村 正志

2015 年 8 月

[前回の記事](#)から 3 週間が経過した。ナジブ・ラザク首相の個人口座への 7 億ドル送金と国営投資会社ワン・マレーシア開発 (1MDB) をめぐる数々の疑惑の解明は、あまり進んでいない。進展といえるのは、汚職対策委員会が [8 月 3 日に声明](#) を発表し、26 億リンギ (7 億ドル) の振り込み先はナジブ首相の個人口座だと公式に認めたことくらいである。

これで首相が窮地に立たされたかといえ、そうでもない。[5 日の声明](#) で汚職対策委員会は、今後ナジブ首相から事情を聞く予定だとしつつも、7 億ドルは中東のある「ドナー」から寄付されたものであり、この献金と 1MDB とは直接の関係はないと結論づけた。この声明で汚職対策委員会は、ドナーが誰なのか、巨額献金は何に由来しどう利用されたのかといった点はあきらかにせず、問題視もしていない。もとより、疑惑発覚の発端となった『ウォール・ストリート・ジャーナル』(WSJ) の報道 ([前々回記事](#) 参照) でも、7 億ドルの出所はあきらかでないと言われていた。この声明を読むかぎり、汚職対策委員会は、WSJ 報道を大筋で事実と認めたいうえで、それでも首相が 7 億ドルの献金を受け取ったことに法的な問題はないとの結論に達しつつあるようにみえる。

この 3 週間、ナジブ政権は、真相究明を先送りしたままスキャンダルを封じるための策を次々と繰り出してきた。決定的な対策となったのが、7 月 28 日に発表した内閣改造である。

### 内閣改造と司法長官の交代

7 月 28 日にナジブ首相は、ムヒディン・ヤシン副首相の更迭、アフマド・ザヒド・ハミディ内相の副首相就任を目玉とする内閣改造を発表した (詳細は文末の表参照)。その内容は、同時におこなわれた司法長官の交代とあわせて、1MDB 問題の調査に介入するための「スキャンダル対策人事」とでもいべきものである。

ムヒディン副首相は、昨年末の首相外遊の折に 1MDB 問題を閣議での議題にのせる<sup>1</sup>など、以前から同社の経営状態への懸念を示してきた。今年 3 月に政府が 1MDB に公的資金を注入<sup>2</sup>した際には反対の意思を表明している<sup>3</sup>。解任の決め手となったのは、7 月 26 日に与党 UMNO の支部で行った演説である。この演説でムヒディンは、2 日前に内務省から 3 カ月の発禁処分を受けた「エッ

<sup>1</sup> [“Cabinet discussed 1MDB issue at this week’s meeting, say sources,”](#) *The Malaysian Insider*, December 12, 2014.

<sup>2</sup> 政府は 3 月 12 日に 9 億 5000 万リンギのスタンバイ・クレジットを提供したと発表。2 日後には、1MDB がすでに 6 億リンギ分を利用済みであることを明らかにした ([“1MDB used up RM600 million of ‘standby credit’, says minister,”](#) *The Malaysian Insider*, March 14, 2015)。

<sup>3</sup> [“Muhiddin insists no bailout for 1MDB, wants thorough audit from 2009 accounts,”](#) *The Malaysian Insider*, March 6, 2015.

ジ」<sup>4</sup> (Edge) に言及し、1MDBの状況が把握できないから自分もエッジを読んでいた、エッジの報道が正しくないなら何が正しいのか、などと語った<sup>5</sup>。エッジは7月20日付の記事<sup>6</sup>で、ペトロサウジとの合弁会社およびジョウ・ローの企業（[前回記事参照](#)）を経由して1MDBから流出したと見られる現金18.3億ドル（2285億円）の行方を詳しく報じ、ジョウ・ローとペトロサウジ関係者らがこの金を盗んだと結論づけていた。

ちなみに、エッジ・メディア・グループの代表は発禁処分を受けた直後、かれらの報道がペトロサウジの元社員（後述）から得たデータにもとづくものであることを認めていた<sup>7</sup>。一方、政府側では、ザヒド内相らがデータは改竄されたものだとして主張していた。ゆえに先のムヒディン発言は、信頼に値するのはザヒド内相ではなくエッジだと述べたようなものである。

[内閣改造の声明](#)でナジブ首相は、公開の場で首相に異を唱えることは内閣の共同責任の原則に反する不適切な行為だと主張した。したがって造反者の更迭が内閣改造の主たる目的なのは明白である。ムヒディンと同様に、1MDBに関する詳しい情報が閣僚に与えられないことへの不満をもらしていたモハマド・シャフィ・アブダル農業・農業関連産業相も更迭された。

一方、ムヒディンにかわって副首相となり、内相を兼任するザヒドは、ナジブ首相の秘書として政界でのキャリアをスタートさせた人物であり、首相がもっとも信頼する政治家のひとりである。1MDB問題でも一貫して首相擁護の姿勢をとり続けている。このような人物が警察を指揮する内相と副首相を兼任しているのは、首相にとって心強いことであろう。

今回の内閣改造は、下院の決算委員会から委員長を含む4人を一度に正副大臣に登用した点でも異例の人事となった。その狙いは、決算委員会による1MDB問題の調査を妨害することにある。決算委員会のヌル・ジャズラン・モハムド委員長は、与党UMNOに所属するにもかかわらず1MDBの調査に積極的に取り組み、8月第1週には同社の新旧経営者を召喚する予定だった。ところがヌル・ジャズランの入閣により委員長が不在となったため、下院議長は、議会再開後に新委員長を選出するまで決算委員会は活動できないとの判断を下した。議会が再開するのは10月である。野党所属委員らが活動継続を求めたが実らず、決算委員会による調査は延期された。しかも、ヌル・ジャズランが登用されたのは内務副大臣のポストである。ナジブ首相は、1MDB問題の究明に取り組むやっかいな人物を、自身の腹心の配下に置いたのである。

ソーシャル・メディアに関する政策を統括する通信・マルチメディア相の交代も注目に値する。UMNOのなかではリベラル派といえるアフマド・シャベリ・チークが農業・農業関連産業相に転出し、かわってサバ州議会議長のサレー・サイド・ケルアクが、上院議員に任命されたうえで通信・マルチメディア相に登用された。サレーはこれまで、1MDB問題に関して積極的にナジブ首相を擁護するコメントを出しており、入閣後は7億ドル問題に関して、汚職対策委員会の調査に

<sup>4</sup> 週刊経済誌 *Edge Weekly* と日刊の *Edge Financial Daily* に対し、7月27日から3カ月の発行停止が命じられた。

<sup>5</sup> “[If not The Edge, then which source can be trusted for 1MDB reports, asks Muhyiddin.](#)” *The Malaysian Insider*, July 26, 2015.

<sup>6</sup> “[How Jho Low & PetroSaudi schemed to steal money from the people of Malaysia via 1MDB.](#)” *Edge Financial Daily*, July 20, 2015

<sup>7</sup> “[Yes, we misled Justo on payment to get proof of US\\$1.83 billion scam.](#)” *The Malaysian Insider*, July 24, 2015.

よって出所がIMDBでないことが判明したのだからなんら問題ないと述べた<sup>8</sup>。首相は、自身への批判が渦巻くソーシャル・メディアに対する管理の強化を望んでおり、新大臣はこれに応える姿勢を見せている<sup>9</sup>。

このような内閣改造と同等かそれ以上に重要なのが、同じ日に発表された司法長官の交代である。2002年から司法長官の座にあったアブドゥル・ガニ・パタイルが任期満了を前に事実上更迭され<sup>10</sup>、連邦裁判所（最高裁に相当）の判事だったモハムド・アパンディ・アリが新長官に就任した。「サラワク・レポート」（[前回記事](#)参照）は、ガニが更迭されたのはナジブに対する起訴状を起草したからだと報じている<sup>11</sup>（司法長官府の次官補らは否定）。この報道によれば、IMDBの子会社として設置され2012年に財務省に移管されたSRC Internationalからナジブ首相の口座に計4200万リンギ（13.3億円）が流れた取引（[前々回記事](#)参照）のうちの一部を、ガニは汚職と見なしてナジブを逮捕・起訴しようとしていたという。

司法長官交代によって、ガニが主導した、首相の7億ドル受領問題を捜査するための司法長官府と汚職対策委員会、警察、中央銀行の特別タスクフォースは、事実上解散した<sup>12</sup>。それと同時に警察は、情報漏洩についての、司法長官府と汚職対策委員会に対する捜査を強化している。警察は8月1日に汚職対策委員会の関係者2人と司法長官府の検察官1人を逮捕したほか、5日までにさらに7人の汚職対策委員会関係者を事情聴取した。警察長官のカリド・アブ・バカールは、中央銀行のゼティ・アクタール・アジズ総裁と汚職対策委員会ナンバー2のモハマド・シュクリ・アブドゥルから事情を聴取する可能性も示唆している。

警察の圧力に対して、汚職対策委員会からは不満の声があがっている。8月5日に家宅捜査を受けた特別捜査局の局長は、捜査官の逮捕を命じた「犯人」を見つけ出すと息巻き、「きさまには権力があるのだから私にはアラーがついている」と言い放ってメディアの注目を集めた<sup>13</sup>。一方で、アブ・カシム・モハムド委員長はこの日から1週間の「休暇」に入ってしまう。すると7日金曜の夜、特別捜査局長と戦略通信部長を懲戒処分とし首相府へ転属させるとの人事異動が発表される。だが、これには閣内からも批判の声が出て、週明けの10日には処分は撤回された。

## 捜査の行方

この2週間ほどのあいだに、捜査される側であるナジブ首相が捜査する側の首をすげ替えてこれを掌握したわけである。では、今後の捜査では何が焦点となるのだろうか。

冒頭で述べたように、ナジブ首相の個人口座に7億ドルが振り込まれた問題については、これを事実と認めたとうえで法的な問題はないとする方向に向かっているようだ。副首相解任の夜、ム

<sup>8</sup> [“Be happy that money in Najib’s accounts not from IMDB, says new minister.”](#) *The Malaysian Insider*, August 4, 2015.

<sup>9</sup> [“Najib wants MCMC laws strengthened to fight ‘unfair trial by social media.’”](#) *The Malaysian Insider*, August 2, 2015.

<sup>10</sup> 表向きには、健康不安（肝臓疾患）による辞任とされている。

<sup>11</sup> [“ARREST WARRANT FOR THE PRIME MINISTER! - The Real Reason The Attorney General Was Fired.”](#) *Sarawak Report*, July 30, 2015. ちなみにこの記事には、7月29日の夕方に[火災が発生した連邦警察ビル](#)の10階にホワイト・カラーの犯罪に関するあらゆる資料が保存されていたという興味深い記述もある。

<sup>12</sup> 汚職対策委員会が8月5日に出した声明に、司法長官から特別タスクフォースは不要だと忠告を受けたとの記述がある。

<sup>13</sup> [“MACC director: By God, I’ll find the culprits.”](#) *Malaysiakini*, August 5, 2015.

ヒディンが来客を前に、首相が7億ドルを受け取ったことを認めたと語るビデオが流出した<sup>14</sup>。ビデオ流出の翌日、首相府のプロパガンダ組織といわれる特務局のアドバイザーが、7億ドルは私的な金だから情報公開の必要はないと言い出した。これに呼応して、与党連合・国民戦線の戦略通信部長の肩書をもつアブドゥル・ラーマン・ダーラン住宅・地方政府・都市福祉相が、首相が党の信託口座を持つことに何ら問題はないと発言した。この流れのなかで、冒頭にみた汚職対策委員会の声明が発表された。この声明が発表されるとラーマン・ダーランは、国営テレビのインタビューにおいて、UMNO総裁が政治資金を直接管理するのはよいことだ<sup>15</sup>、ナジブ首相が前回選挙で7億ドルを使ったのだとしてもそれは異常なことではない<sup>16</sup>などと主張した。

7億ドル受領についてナジブ首相自身は、WSJ報道から1カ月あまりの間、否定も肯定もしてこなかった。だが8月8日、UMNO支部での演説において政治献金について語り、便宜供与の引き替えに献金を受け取ったわけではない、だから汚職対策委員会は汚職ではないと認めたなどと述べた<sup>17</sup>。7億ドル問題に直接言及したわけではないが、事実上、7億ドルを受け取ったことは認めたと解釈できる。

1MDBに関わる疑惑の捜査では、同社とジョウ・ローやペトロサウジとの関係に関する報道のもととなった情報の信憑性が焦点となろう。「エッジ」や「サラワク・レポート」による報道は、ペトロサウジから流出した電子データに依拠している。このデータを提供したのは、スイス国籍のペトロサウジ元社員、ザビエル・アンドレ・ジュストである。この元社員は、6月22日にタイにおいて、持ち出した電子データを材料にペトロサウジを恐喝した容疑で逮捕された。ジュストは当初容疑を否認していたが、7月16日にタイ警察は、ジュストが容疑を認めたと発表した<sup>18</sup>。ジュストの逮捕以来、データの信憑性が議論的となっており、ジュストが容疑を認めると、政府はデータが改竄されたものとみなして「サラワク・レポート」へのアクセスを遮断した<sup>19</sup>。ジュストは獄中でインタビューに応じ、メディアの側がデータを改竄したと主張した<sup>20</sup>が、メディア側はこれを否定している。

その後政府と捜査当局は、「サラワク・レポート」の報道は犯罪行為にあたると言い出した。7月25日にザヒド内相が、「サラワク・レポート」を主宰するクレア・ルーキャッスル・ブラウン氏の送還をイギリス当局に求める可能性を示唆したのに続き、8月4日に連邦警察犯罪捜査局長が、すでにルーキャッスル・ブラウン氏の逮捕状をとっており、インターポールとアセアナポールに協力を要請したと発表した。ルーキャッスル・ブラウン氏には、「議会制民主主義に有害な活動」(刑法124B条)と「虚偽報道」(同124I条)の罪を犯した嫌疑がかけられている。イギリス当

<sup>14</sup> “[In leaked video, Muhyiddin says Najib admitted RM2.6 billion in his accounts](#),” *The Malaysian Insider*, July 29, 2015.

<sup>15</sup> “[Better for Umno president to hold money rather than proxies, says Rahman Dahlan](#),” *The Malaysian Insider*, August 4, 2015.

<sup>16</sup> “[Najib has to spend more as BN no longer governs key states, says Rahman Dahlan](#),” *The Malaysian Insider*, August 4, 2015.

<sup>17</sup> “[Najib says MACC cleared him of corruption](#),” *The Malaysian Insider*, August 8, 2015.

<sup>18</sup> “[Ex-PetroSaudi official admits to blackmail attempt, say Thai police](#),” *The Malaysian Insider*, July 16, 2015.

<sup>19</sup> 同じ時期、「サラワク・レポート」において情報改竄に携わったと「告白」するジャーナリストが現れたが、「サラワク・レポート」によれば、この人物が勤務した事実はない (“[Editor confessing to Sarawak Report’s MDB document forgery never worked for site, says founder](#),” *The Malaysian Insider*, July 16, 2015)。

<sup>20</sup> “[I was offered \\$2.7m for stolen data: Ex-PetroSaudi employee Xavier Andre Justo on the 1MDB saga](#),” *Straits Times*, July 24, 2015.

局がこの件でマレーシアからの送還要請に応じることはないだろうが、マレーシア当局としては、「サラワク・レポート」の報道は虚偽であり犯罪だという前提で今後の捜査を進めていくことになる。

捜査の行方がナジブ首相にとって望ましくない方向に進む可能性も、完全になくなった訳ではない。中央銀行のバンク・ヌガラは、ペトロサウジやジョウ・ローとの関わりが深かったとされる 1MDB の元役員と元秘書を探しており<sup>21</sup>、汚職対策委員会は前述の SRC International の活動に関する捜査を継続している。警察からの圧力が強まって以降、捜査の進展をうかがわせる動きはないが、前述した汚職対策委員会捜査官たちの人事をめぐる動きは注目に値する。政治的干渉に屈しないと声明した現場の指揮官が飛ばされそうになったことは、かえって疑惑を深めた<sup>22</sup>。また時を同じくして、捜査対象であり、これまで 7 億ドル問題への言及を避けてきた首相自身が、汚職対策委員会が自身の潔白を認めたと述べたのも奇妙である。SRC International からの献金は、7 億ドルのうちのごくわずかを構成するにすぎないが、アブダビの投資会社が所有する銀行を通じた取引とは別ルートを経由したものであり（[前々回記事](#)参照）、汚職対策委員会の 8 月 5 日声明にある「中東のドナー」による献金とは別物かもしれない。汚職対策委員会は SRC International についての捜査を担当しているから、これに関する真相究明が今後の重要な焦点になるだろう。

## 市民と与野党の反応

首相が 7 億ドルを受け取ったが法的問題はなし、1MDB から巨額資金が流出したというのは改竄された電子データにもとづく嘘、などという話はとうてい受け入れられないと考えるマレーシア国民は少なくない。ニュース・サイトのコメント欄などには政府批判の声があふれている。8 月 1 日にはナジブ首相の退陣を求めるデモがクアラルンプールの中心部でおこなわれた。過去に選挙改革を求める大規模デモを実現してきた市民団体ブルシ（Bersih）は、8 月 29 日から 30 日にかけて首相の辞任を要求するデモを実施する予定である。

外為市場ではリングが売られ、1 ドルが 4 リング超となる展開も視野に入ってきた。政府の信用失墜がリング安の一因と考えられている。

政党には市民社会に呼応して政府に圧力をかける動きが期待されるが、前回の記事でも言及したように、主要野党の足並みは乱れている。とくに目立つのは、イスラーム政党 PAS の幹部がナジブ首相を支持するような態度をとっていることだ。同党の宗教部門最高幹部であるハロン・デインは、WSJ 報道が出た直後に、1MDB と首相に関わる報道の多くが事実でなかったと述べるなど、記事の信憑性を疑うコメントを発した<sup>23</sup>。内閣改造後に党内反主流派指導者や DAP 議員らが下院での首相不信任案提出を提言すると、アブドゥル・ハディ・アワン総裁は、不健全な手段による政治変動は国に混乱をもたらすと述べて、同党所属議員に対し不信任案に賛同しないよう指示し

<sup>21</sup> [“Bank Negara looking for duo linked to 1MDB,”](#) *The Malaysian Insider*, July 24, 2015.

<sup>22</sup> [“MACC external panel chief demands transferred duo be reinstated,”](#) *The Malaysian Insider*, August 8, 2015.

<sup>23</sup> [“Tuduhan ke atas Perdana Menteri tidak logik,”](#) *Utusan Online*, July 5, 2015.

た<sup>24</sup>。一方UMNOからは、PASとの共闘を検討すべきだとの声があがっている<sup>25</sup>。

PAS がナジブ首相を支持する背景には、クランタン州でのハード刑（イスラーム刑法）施行に向けて UMNO の協力を得たいというもくろみがあるものと考えられる。PAS は 6 月の党大会で役員選挙を実施し、イスラーム主義者のグループが進歩派と呼ばれる指導者たちを執行部から一掃した。この党大会で PAS は DAP との絶縁を決議し、野党連合・人民連盟が解体するにいたった。その後ニューホープ運動（GHB）なるグループを立ち上げた進歩派は、PAS を離党して新党を結成する見込みである。

これまで野党や市民団体が企画したデモでは、PAS の動員力に頼ることも多かったから、PAS の首相への接近はナジブ退陣を目指す在野勢力にとって大きな痛手だ。野党共闘の復活を目指す GHB が PAS 党員の引き抜きに成功すればこれまでの PAS の役割を代替できるだろうが、GHB がどの程度の勢力を得られるかは現時点では予測しがたい。

与党UMNO内で 1MDB を問題視してきたグループは、今回の内閣改造によって勢いをそがれた。ただし、更迭されたムヒディンは依然として党副総裁、シャフィは序列第 3 位の副総裁補 3 人のうちの 1 人であり、両者とも、とくに地元の州では強い支持を維持している。ムヒディンの地元ジョホール州とシャフィの地元サバ州は、他州に比べてUMNOが依然強く、多くの議員を輩出している。ゆえに、批判者の更迭によってナジブ首相が完全に与党を掌握したとまではいえない。前述の汚職対策委員会の人事異動が発表されると、カイリー・ジャマルディンUMNO青年部長（青年・スポーツ相）が公然と反対の意思を表明した<sup>26</sup>。カイリーはまた、政府の信用失墜がリング急落の原因だとも主張し、首相と距離を置きはじめている<sup>27</sup>。

かつてUMNOに所属し閣僚経験もあるザイド・イブラヒム氏は、10 万人規模の反ナジブ集会を実現しようと呼びかけ、野党指導者とともにムヒディンやマハティール元首相にも参加を呼びかけている<sup>28</sup>。いったんは巻き返しに成功したナジブ政権であるが、もし「ナジブおろし」のための与野党協調がなんらかのかたちで実現したなら、それは政権にとって大きな脅威になりうる。

<sup>24</sup> [“Hadi warns PAS reps not to vote for no-confidence motion against Najib,”](#) *The Malaysian Insider*, July 31, 2015.

<sup>25</sup> [“Umno should consider working with PAS, says Nong Chik,”](#) *Star*, August 2, 2015.

<sup>26</sup> [“Khairy slams transfers of MACC officers,”](#) *The Malaysian Insider*, August 8, 2015.

<sup>27</sup> [“Trust deficit, crisis of confidence causing ringgit to fall, says Khairy,”](#) *The Malaysian Insider*, August 9, 2015.

<sup>28</sup> [“Ex-Umno minister calls for 100,000-strong rally to save nation,”](#) *The Malaysian Insider*, August 5, 2015.

表 2015年7月28日発表のマレーシア内閣改造

ポスト	新任	所属政党※	前職	退任	所属政党※
副首相	Ahmad Zahid Hamidi	UMNO (副総裁補)	内務相。内閣改造後も兼任。	Muhyiddin Mohd. Yassin	UMNO (副総裁)
教育相	Mahzir Khalid	UMNO (評・選出)	エネルギー・環境技術・水道副大臣	Muhyiddin Mohd. Yassin	UMNO (副総裁)
農村・地域開発相	Ismail Sabri Yaacob	UMNO (評・選出)	農業・農業関連産業相	Mohd Shafie Apdal	UMNO (副総裁補)
国内商業・協同組合・消費者相	Hamzah Zainuddin	UMNO (評・任命)	外務副大臣	Hasan Malek	UMNO (評議員)
天然資源・環境相	Wan Junaidi Tuanku Jaafar	PBB	内務副大臣	G. Palanivel	MIC
科学・技術・イノベーション相	Wilfred Madius Tangau	UPKO	下院決算委員会委員	Ewon Ebin	UPKO
通信・マルチメディア相	Mohd Salleh Said Keruak	UMNO	サバ州議会議長(→上院議員に任命)	Ahmad Shabery Cheek	UMNO (評議員)
農業・農業関連産業相	Ahmad Shabery Cheek	UMNO (評・選出)	通信・マルチメディア相	Ismail Sabri Yaacob	UMNO (評議員)
高等教育相(新設)	Idris Jusoh	UMNO (評・選出)	第2教育相		
首相府相(追加)	Azalina Othman Said	UMNO (評・選出)	下院議員(元青年スポーツ相、観光相)		
第2国際貿易産業相(新設) [副大臣]	Ong Ka Chuan	MCA (幹事長)	下院議員(元住宅・地方政府相)		
財務副大臣	Johari Abdul Ghani	UMNO (評・任命)	下院議員	Ahmad Maslan	UMNO
内務副大臣	Masir Kujat	PRS	下院議員	Wan Junaidi Tuanku Jaafar	PBB
同上(追加)	Nur Jazlan Mohamed	UMNO	下院決算委員会委員長		
外務副大臣	Reezal Merican Marina Merican	UMNO (評・選出)	下院決算委員会委員	Hamzah Zainuddin	UMNO (評議員)
国防副大臣	Mohd Johari Baharum	UMNO	下院議員(元首相府、農産副大臣)	Abdul Rahim Bakri	UMNO
国際貿易産業副大臣	Ahmad Maslan	UMNO (情報部長)	財務副大臣	Hamim Samuri	UMNO
観光・文化副大臣	Mas Ermieyati Samsudin	UMNO	下院決算委員会委員	Joseph Salang Gandum	PRS
教育副大臣	Chong Sin Woon	MCA (青年部長)	上院議員	Mary Yap Kain Ching	PBS
首相府副大臣(宗教担当・追加)	Asyraf Wajdi Dusuki	UMNO (評・任命)	上院議員		
高等教育副大臣(新設)	Mary Yap Kain Ching	PBS	教育副大臣		

※ 「評・選出」は役員選挙選出の最高評議会評議員、「評・任命」は総裁任命枠の最高評議会評議員を意味する。

(出所) 新聞報道等をもとに筆者作成。